

令和8年度事業計画案について

令和8年5月27日(水)

- ①市内循環バスの臨時運行
- ②交通拠点の機能強化(ベンチ・待合所の設置・更新)
- ③「うきしろ号」の利用促進事業
- ④「うきしろ号」のアップデート

①市内循環バスの臨時運行

5月4日（月・祝）開催の「第41回 さきたま火祭り」において、市内循環バス観光拠点循環コースの臨時便の運行を実施しました。当日は、約60,000人が来場し、盛り上がりを見せました。

臨時便の概要

- ・ さきたま火祭りの終了時刻（20時）に合わせて観光拠点循環コースの通常運行終了後に臨時便を2便運行
- ・ 埼玉古墳公園発、JR行田駅着の直通運行。途中のバス停には停車しない。
- ・ 運賃は1回200円（通常の市内循環バス運賃と同額）

時刻表と乗車人数

	埼玉古墳公園 発	JR行田駅着	乗車実績	【参考】 昨年度実績
臨時1便	19時50分	20時10分	20人	26人
臨時2便	20時40分	21時00分	25人	12人

周知方法

- ・ バス車内、停留所掲示
- ・ パンフレット掲載
- ・ 市HP掲載

来年度以降も要請があれば臨時運行を実施していきたい

市内循環バス （観光拠点循環コース） 臨時運行時刻表

さきたま火祭り当日(5月4日)は
市内循環バスの臨時運行を実施します

埼玉古墳公園発	JR行田駅着
時 分	時 分
19 50	20 10
20 40	21 0

※JR行田駅まで直通で運行します。

※途中のバス停には止まりませんので、ご注意ください。

※運賃は1回200円です。

※交通事情により到着時間に遅れが生じる場合がございます。



バス車内・停留所に掲示した案内

施策7 移動しやすいネットワーク形成のための交通拠点の確保

策定主体：市、交通事業者
策定主体：市、交通事業者

- ・ 自家用車依存の傾向が高い中、市民の移動手段を自家用車から公共交通へと転換していくため、自宅から最寄りの駅や停留所、目的地の手前まで自家用車で移動して駐車し、そこから公共交通機関を利用して目的地まで移動するパーク・アンド・ライドを整備・活用し、自家用車依存から公共交通利用への転換を目指していきます。また、自転車から公共交通機関への乗り換えを促進するサイクル・アンド・バスライドの整備・活用についても、検討・実施します。
- ・ 公共交通網を便利に利用するためには、地域拠点や乗継拠点の待合環境の向上等、交通拠点の充実が不可欠です。既存の公共交通や新たなモビリティサービス等との連携により、市民や来訪者の移動の利便性・自由度を高めるために交通拠点を確保し、その機能の充実を図ります。
- ・ 駅前の整備、観光案内所としても機能する忍城バスターミナルをはじめとした公共施設や医療施設等の市内主要施設の交通拠点としての活用や機能強化、様々な移動手段との連携方策等について検討・実施します。

表 5-4 交通拠点に求められる機能

基本機能	バス等の乗降、歩行者の移動・待合、車両の移動・停留等、交通ターミナルの運営、新たなモビリティサービスの対応
交通機能	歩行者の交通モード間の連携、交通モード間の連携
防災機能	災害時の交通マネジメント、代替輸送の確保、災害時の情報提供、ライフラインの確保、帰宅困難者の一時滞在
地域の拠点・賑わい機能	まちづくりの連携、賑わいの創出
サービス機能	トイレや食事・消費、案内等の各種サービスの提供
景観機能	良好な景観・緑地・水辺等の確保

出典：交通拠点の機能強化に関する計画ガイドライン 国土交通省（令和3年4月）



JR 行田駅



忍城バスターミナル



古代墓の里



忍城址(駐車場)

行田市地域公共交通計画

「施策7 移動しやすいネットワーク形成のための交通拠点の確保」で掲げている内容は

「市民の移動手段を自家用車から公共交通へと転換」

「公共交通網を便利に利用するためには、地域拠点や乗継拠点の待合環境の向上等、交通拠点の充実が不可欠」

「駅前の整備、観光案内所としても機能する忍城バスターミナルをはじめとした公共施設や医療施設等の市内主要施設の交通拠点としての活用や機能強化、様々な移動手段との連携方策等について検討・実施」

交通拠点の機能強化の一環として、より利用しやすい環境づくりを行っていく

②ベンチ・待合所の設置・更新

ベンチ、待合所を新規設置する場合の考え方

乗降者数が多い停留所へ優先して設置

・ベンチ

乗降者数カウントシステムにより把握する各停留所毎の乗降人数が多い場所を優先

・待合所

①複数の路線や、他の交通モード(鉄道、シェアサイクル)と接続する停留所

②大きな医療施設や商業施設などのそばに隣接する停留所

既設ベンチを更新する場合の考え方

老朽化が激しい物から計画的に更新していく

※5年間で30箇所の更新を見込む

●ベンチ・待合所の設置・更新計画(予定)

	現在数		R8	R9	R10	R11	R12	R13	合計
ベンチ	30	新設	7	2	2	2	2	2	47
		更新	0	6	6	6	6	6	
待合所	16	新設	2	1	0	1	0	1	21
		更新	0	0	0	0	0	0	

ベンチ



待合所

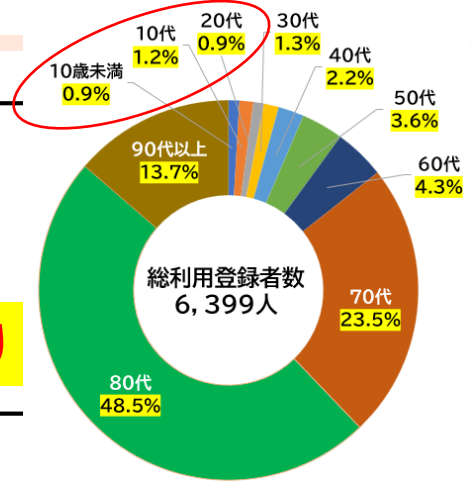


③「うきしろ号」の利用促進事業

①課題

- ・20歳未満の利用者登録は、登録者全体の約3%と少ない(R8.3月末時点)
→公共交通を日ごろから利用していないため、触れる機会がない

公共交通に触れる機会が少ない**小学生に対して利用するきっかけをつくる必要あり**



②事業の内容

- ・小学生を対象に、夏休み期間中にうきしろ号を活用したポイ活を実施
- ・ポイント数に応じた記念品を贈呈することで、利用のきっかけづくりをしたい



プラスして

祖父母と孫のお出かけなど、高齢者と一緒にうきしろ号を利用した場合にはWポイントを付与して、**高齢者の利用喚起も併せて行う**

③効果

- ・うきしろ号の乗車体験を通じて、事業終了後の継続利用も期待できる
- ・小学生の両親や祖父母など、家族を含めた利用の増加につながる
- ・公共交通に対して、興味・関心を持ってもらうことを通じ、公共交通併用への第一歩へつなげたい



③乗ってみよう！夏のおでかけ応援事業

対 象 者	市内に住民登録がある小学生3,019人(R8予定人数)	
募 集 期 間	6月初旬に学校を通じて、利用者登録申請書を配布予定 →申請書の提出後、事業開始までにスタンプカードを配布	
実 施 期 間	夏休み期間中(7月18日(土)～8月31日(月)) 	
運 賃	300円⇒100円※(小学生のみ) ※差額を市が負担するため運賃協議不要 	
実 施 方 法	・利用者登録をした小学生全員にスタンプカードを配布 ・うきしろ号に乗車するごとに、スタンプを1つ押印 ・両親や祖父母と一緒に乗車した場合は、追加でスタンプを押印 ・10回、20回など、スタンプ数に応じて記念品を贈呈	
引 換 方 法	スタンプカードは、交通政策課窓口に提出いただき、後日、記念品を送付	
そ の 他	子どもが利用しそうな学習塾・英会話教室・スポーツジム・ピアノ教室などの施設を 指定乗降場所に追加	

③追加する指定乗降場所(43か所)

種 類	施 設 名	所 在 地	種 類	施 設 名	所 在 地	種 類	施 設 名	所 在 地
学習塾	無限塾 行田校	本丸1-2	学習塾	リンク学院	矢場2-8	英会話	パッピーキッズクラブ 行田教室	栄町3-3
	行田ゼミナール本校	忍2-14-20		野口塾中央教室	中央23-11	ジム	フィットネスクラブBEST行田	押上町11-1
	国大セミナー行田市駅校	忍2-19-7		公文式 持田二丁目教室	持田2-11-20		カーブス 行田	向町13-22
	俊英館フレックス 行田中央校	忍2-19-1 清水ビル3F		公文式 荒木教室	荒木1453-2	ピアノ	さちピアノ教室	門井町3-25-20
	秀和教育学院	忍2-2-15 ルナ・ヒルトン		公文式 行田さくら教室	富士見町2-27-5		リアンミュージックスクール	和田245
	ナビ個別指導学院 行田校	行田20-16 田島店舗		公文式 行田長野教室	長野4-21-10		ヤマハ音楽教室 行田門井センター	門井町2-4-8
	個別指導の明光義塾 行田中央教室	中央4-7		公文式 行田南小前教室	佐間1-19-32		わにわこどもの教室	北河原1178
	個別指導の明光義塾 行田駅前教室	壱里山町1-30 堀口ビル2階		公文式 片原教室	埼玉3773		矢部音楽教室	持田4-4-16
	個別指導のレイアアップ	桜町3-7-10		公文式 清水町教室	清水町4-12		たなざわ音楽教室	下池守559-1
	ITTO個別指導学院 行田持田校	持田3-30-5		公文式 行田中央教室	忍1丁目1-18-1	プログラミング他	サイエンスゲーツ 行田みずしろ教室	駒形1-9-21
	NEOアカデミー	持田4-6-8		学研アシスト 行田長野教室	長野2-21-35	商業施設	りらくる行田店	佐間1-23-12
	スクールIE 行田佐間校	佐間1-5-12		学研 佐間教室	佐間2-5-25		カラオケまねきねこ行田店	行田26-9
	林塾前谷校・谷郷校	前谷924-4		学研アシスト 行田持田教室	持田4-3-11	福祉施設	グループホーム朝昼晩・持田IC	持田2232-3
	向学館	向町24-28		学研 門井教室	門井町3-5-20			
	一橋ゼミナール行田校	持田1-1-27		学研 北新宿教室	壱里山町4-8フジパレス行田壱番館103号室			
○追加後の指定乗降場所数 ： 828か所								
○追加日 ： 令和8年7月1日(水)								

④「うきしろ号」のアップデート

利用者などから寄せられた声（改善を求めるご意見）

令和7年度第1回行田市地域公共交通会議
資料3加筆（令和7年5月23日開催）

予約の締め切り時間を短縮してほしい

済

令和7年7月1日実施

障がい者と同様に、高齢者と同乗する付添人も
利用登録なしで乗車できるようにしてほしい

済

令和7年10月1日実施

指定乗降場所を追加してほしい

済

令和7年7月1日、令和8年3月2日実施

ワゴン型車両は車高が高くて乗り降りが大変

済

令和7年1月中旬実施

市外の医療機関へ行きたい

今後の検討

デマンドタクシーと比べて運賃が高くなった



今後の
アップデート

うきしろ号の市外乗り入れ

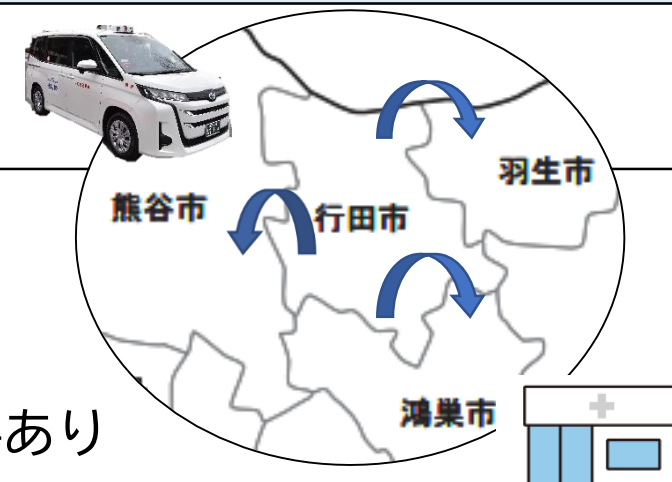
乗入れ先地域の公共交通（路線バスやタクシー）への影響
を考慮しながら、市外乗り入れを進めていきたい

基本方針

- 検討する乗り入れ先は、隣接自治体(熊谷・羽生・鴻巣)とする
- 乗り入れ先は、利用者のニーズが高い医療機関で、市域から3 km圏内とする

乗り入れにあたっての留意点

- ✓ 遠方の場所への乗り入れは往復に時間を要する
→ 次の予約が取りにくくなる懸念あり
- ✓ 乗入れ先地域での路線バスやタクシーへの影響を考慮する必要あり
→ 乗客を奪ってしまう可能性があるため、対象施設が路線バスのバス停や鉄道駅から至近に所在する場合は、運行事業者等の意向に十分配慮する必要がある
- ✓ 運賃は、現行と異なる金額を設定することを前提とする
→ 今後、当会議で案を提示しながら運賃部会で協議していく



④市外乗り入れする場合の手順

11

